

第3回 千曲市復興計画策定委員会 議事録（要旨）

日時 令和2年11月25日
午前10時00分～

会場 ことぶきアリーナ千曲 会議室

1. 開 会

（事務局）

本日は小川市長も出席予定だが、現在別の公務中であるため終わり次第駆けつけることになっている。

復興計画の住民説明会が延期となった。

10月25日の市長選挙により新市長となったため、計画の中身を見ていただく時間をとらせていただいた。

それにより計画の中身も市長の意向により若干変更が生じた。後ほどその説明もさせていただきます。

2. 委員長あいさつ

（赤沼委員長）

夏に委員会を開いてからしばらく間が空いた。

住民説明会を実施するための意見集約期間であったが、その間市長選挙があり、市長の交代があったということで、また少し延びると思われる。

いずれにしても、今までそれぞれの立場で復興計画についてご意見をいただいているので、市長の交代によって計画自体が大きく変わるとは考えていない。

新市長は市民の意見をお聞きするという考え方を持っているため、委員の皆さんには忌憚のないご意見を今後もいただくようお願いしたい。

3. 会議事項

（委員会設置要綱「第7条」の規定により委員長が進行）

(1) 千曲市復興計画（案）に対するパブリックコメントについて

(事務局)

10月12日から11月10日までパブリックコメントを実施し、4件のパブリックコメントを提出いただいた。

件数は4件であったが、色々な内容が書かれていた。概要としてまとめさせていただき、それに対する市の考え方を一覧表にした。

意見の概要は25の項目に分けたが、内容としては浸水原因や大型土のうの設置などに対する質問が多い。また、避難に対する質問もあった。

回答は一覧表に記載したとおりで、近日中に市ホームページへ公開していく。

なお、計画に反映できる意見については案の修正をする際に反映する。

(赤沼委員長)

パブリックコメントを実施し、25項目の意見と市の考え方が記載されている。

資料は本日はじめて見るものであるため、すぐに質問ということは難しいと思うが、何かあれば質問などお願いしたい。

(意見なし)

会議の前に資料を配布していれば検討できたが、この場ですぐという形は難しいので、一度お持ち帰りいただき、あらためて担当へ質問があればしていただくということにしたい。

(2) 千曲市復興計画（案）の修正について

(事務局)

計画案の主な修正点について説明させていただく。

パブリックコメントでの意見や新市長の意向を踏まえて修正をするが、特に委員の皆様にご理解いただきたい主な修正点について二点ご説明する。

一点目は、パブリックコメントの意見から、生田水位観測所の時刻水位を掲載した。

ご覧いただいている通り、生田水位観測所の方が杭瀬下観測所よりも1時間ほど早く水位がピークに達している。

早期避難をうながす意味で、市の危機管理防災課でも生田の水位を注意するよう市民にお願いしているところであるため、こちらに掲載することにした。

二点目は計画の位置付けについての変更。市長の交代にともない、現在の第二次総合計画を基本構想から見直して、第三次総合計画として新たに策定することになった。

これにともなって、核の部分は変わらないものの、基本的な考え方にも変更が生じており、イメージ図やロードマップを修正した。

ロードマップについては1年ごとに区切って示していたが、第三次総合計画策定にあたっては計画期間も見直しの対象としているため、2020年度以降は「2020年度～」という表現に改めている。

(赤沼委員長)

計画の位置付けについて、若干変更があるという話があった。これについてご質問、ご意見等あればお願いしたい。

第二次総合計画の後期基本計画に位置づけられる予定であったが、第三次総合計画を前倒しで策定し、復興計画はそちらに位置づけられる形になる。

質問等なければご了承いただいたということによろしいか。

(意見なし)

(3) 今後のスケジュールについて

(事務局)

12月に議会への説明を行い、1月には今回の修正案によって再度のパブリックコメントを実施する。

2度目のパブリックコメントの際には資料編に必要な資料も掲載したうえで実施する。

延期している住民説明会は1月16日から31日までの日程で開催する予定。ただし、新型コロナウイルスの拡大にともなって申し込み制にしたいと考えている。

申し込み制により人員が制限されるため、代替措置として、事前に説明会の説明内容を撮影し、年内にホームページやケーブルテレビを通じて配信し、市民への周知を図っていく。

本来であれば2度目のパブリックコメント前に策定委員会を開催したかったが、時期的に年末となり皆様が多忙となることから、委員会は開催せず、修正案をお配りすることで代えさせていただきたいと考えている。

以上のようなスケジュールで、最終的な公表は2月の下旬を予定している。

(赤沼委員長)

説明会の延期にともない、策定のスケジュールが遅れてきたということでご理解いただきたい。

計画の修正案については、事務局から委員の皆様へ送付するので、内容等ご確認いただき、ご不明な点は担当にお問い合わせいただきたい。

スケジュールについてご質問を。

(大塚委員)

住民説明会が申し込み制ということだが、募集期間は具体的に決めているか。

(事務局)

正確には決めていないが、なるべく早く、応募期間を長めにとりたいと考えている。

各会場の定員を目安にして、定員を大幅に上回る応募がある場合には、市役所で午前・午後の開催などにより調整を図りたい。

(大碓委員)

それは応募の人数によるということか。

(事務局)

その通り。例えば定員100名の市役所に200名の募集があれば、定員を超えた方に対しては午前中や別日での調整をお願いする。

(大碓委員)

一番心配なのは、応募したけれども外れてしまい説明会に出席できなかったという不平不満が出ることだが、それくらいの調整をしてもらえば良いと思う。

(大碓委員)

定員については、コロナ感染拡大の影響下において安全を確保した人数、余裕を持った人数ということで良いか。

(事務局)

本来の会場定員の50%としている。

(大碓委員)

了解した。

(大碓委員)

市長が交代したが、新市長の復興計画に対する反応はどうか。ガラッと変更したり、掲載されていたものがなくなったりするようなことはないか。

(事務局)

ガラッと変わることはない。皆さんと一緒に議論をしてきた内容でもある。

先ほど説明したように部分的には変更もあるが、市長には内容の説明をしたうえでご覧いただいている。

市長が一番気にしていたことは、住民説明会が延期になったことと、もう少し回数を増やしたり細かく開催できないかということ。

ただ、コロナ禍でもあり、また市長日程の調整を考えて、お示ししたような開催予定となった。

補完する形として、年内からの説明会内容の配信と再度のパブリックコメント実施となった。

(大碓委員)

市長が変わったことで、計画がどうなるか、委員の皆さんも不安に思っていたと思うが、了解した。

(大碓委員)

議会への説明についてだが、議会で内容がひっくり返るような可能性はあるのか。

(事務局)

議会へは、策定委員会で議論した内容を説明して、計画内容についてご意見を伺うといったやり取りになる。

(大碓委員)

質問が前後して申し訳ないが、先ほどの修正案で、生田の水位が1時間ほど早いという説明をいただいた。その説明については、計画の中に一文入れておく必要があると思う。

ただ生田の水位状況を載せても、見る側はその意図が分からない。

(事務局)

承知しました。

(大碓委員)

パブリックコメントに反対意見などはなかったか。

(事務局)

市長出席までの間、内容の読み合わせするか。

(大碓委員)

そうしてもらえればありがたい。被災者としては市長の決意表明を聞きたい。

(大碓委員)

パブリックコメントが4件というのは少ないと感じたが、どのような地区の方が提出したのか。被災した方しか提出していないのか、それ以外の方からも意見があったのかといったことが知りたい。

(事務局)

1名は被災地区でない方。あとの3名は被災地区の方からの提出となっている。

(大碓委員)

了解した。被災していない方からはあまり重要視されていないということ。

(高野委員)

パブリックコメント実施期間中に市役所へ行ったが、どこで実施しているのか良く分からなかった。

また、今回4件しか意見が寄せられていないということにショックを受けている。被災した方だけの問題になってしまうことが心配。

今年は雨が少なかったので、災害が何となく遠いことになって、忘れてしまっているのでは。来年はまた雨が降るかもしれないので危機感をもって、市全体で共有することで、意見ももっと集まるようになれば良いと思う。

(赤沼委員長)

事務局からの回答は必要か。

(高野委員)

お願いであるため回答は不要。

(赤沼委員長)

では、記憶が遠くならないよう日常的な活動の中で市民に PR していただきたい。

(馬場委員)

コロナの影響もあって動画を放映するとの話だったが、我々の世代からすれば動画を公開することは当たり前のこと。

コロナに関係なく、動画は全てにおいて当たり前にして欲しい。動画を見れない方もいるので、動画公開と従来の説明会は常にセットで考えて欲しい。

動画放映はやって損なことはないので、当たり前にして欲しい。

また、行政の説明会は分かりにくいことがほとんど。分からせることが目的なので、見た人がここがポイントだと分かる動画を公開して欲しい。

行政にはそういったことも力を入れて欲しいと思う。

(赤沼委員長)

今のご意見は、今後全体の計画等を進めていく中での行政に対する要望ということではよろしいか。

(馬場委員)

よろしい。

(高野委員)

パブリックコメントの5番目、杭瀬下地区の被害について具体的な数字をとという意見について、市の回答は市全体としてとらえるので区ごとには掲載しないとなっている。

被害にあったのは杭瀬下だけではないため、各地区でどの程度の被害があったのかをある程度明らかにしたうえで市全体として考えるべきでは。

市全体の被害という大きな母数では、大した被害がなかったで終わってしまうのではないか。

(事務局)

計画の中で、被災状況については、り災証明の数や、農地、公共施設などの形で掲載した。

復興計画の形として、市全体の被災状況の中から今後の安全・安心なまちづくりを考えていくというマクロな視点を取っている。

委員ご指摘の点については、災害を検証するうえでは必要であるため、検討させていただく。

(中谷委員)

地区別の話に関係するが、自身の被災体験から申し上げると、避難所までの経路がハザードマップの浸水地区となっている場合、家族を連れて逃げることができない。

その地区の避難所が浸水するかどうかのチェックは必ずして欲しい。

また、安全に避難できる経路についても今一度検証を行い、来たるべき時に備えて欲しい。

(事務局)

避難の仕方や安全性について、復興計画の施策でも触れているところ。

避難所の見直しや、地域防災力の向上として地域でどのように避難するのかといったことを検討していく。

今年度は新しいハザードマップの策定もすでに進めており、皆様に配布していくので、それをご覧いただいたうえで、避難経路の検証なども実施していく。

(中谷委員)

了解。

4. その他

(赤沼委員長)

全体を通して何かご意見、ご希望等あればお願いしたい。

(意見なし)

(赤沼委員長)

予定された会議事項についてはすべて終了となります。ありがとうございました。

(事務局)

コロナ対策として換気を行いたい。暫時休憩としながら市長の到着を待たせていただきたい。

(暫時休憩)

(事務局)

市長の公務が遅れているとの連絡があった。委員長とも相談し、このままお待ちいただく訳にもいかないと考えている。

市長には次回の策定委員会に出席いただくことで進めたいと考えているが、委員の皆様からご意見をいただきたい。

(赤沼委員長)

説明のとおり、このまま30分以上お待ちいただくことは大変だと思う。市長の考え方については、先ほど事務局から一定の内容は説明があった。

これからすぐにパブリックコメントや説明会を実施するということは確認できた。

そのため、次回の策定委員会で市長からご挨拶いただくという形で、本日の会議についてはこれで終了とさせていただきたいがよろしいか。

(委員了承)

(赤沼委員長)

次回の委員会では市長の予定が重ならないよう調整していただきたい。

(事務局)

承知しました。

5. 閉 会